

Dolor y apoyo de descendientes japoneses en Isla de la Juventud
 Descendientes de japoneses en la Isla de la Juventud expresan de distintos modos su pesar y solidaridad con sus familiares en Japón, fuertemente afectado por el devastador terremoto de 8,9 grados de magnitud y el tsunami, junto a los más recientes peligros de accidentes en plantas nucleares y la erupción de un potente volcán este domingo.



特定非営利活動法人 Hands On Tokyo

1980年代後半、ニューヨークの若者によって新しいスタイルのボランティア団体が設立された。多額のお金を使わなくても、自分たちの「時間」を提供することで地域貢献ができる。と考へ、アフター5、週末を活用してのプロジェクトを開始。ハンズオン東京の創立者はディーバ・ハーシュ、日本人と外国人が共に手をたずさへ、東京と東北地方で個人やグループに意義あるボランティア活動に参加する機会を提供している。



 **アイリーン・ヒラノ・イノウエ**
 Irene Hirano Inouye 
 米日カウンシル会長(日系アメリカ人3世) **USA**

日系アメリカ人の歴史と体験を伝えることを目的とした全米日系人博物館(カリフォルニア州ロサンゼルス)の初代館長として20年間にわたり活躍。2009年にダニエル・イノウエ上院議員と結婚、同年4月に非営利団体の米日カウンシルを創設し、各種人物交流プログラムを実施している。東日本大震災の継続的な復興支援として次世代を担う若者たちの育成と交流を促進する「トモダチ・イニシアチブ」を日米両政府と立ち上げた。日米の人的交流への長年の貢献により、2012年度国際交流基金賞を受賞。

「トモダチ・イニシアチブ」は若い世代への投資

米日カウンシルは日本の若者を米国に招く「トモダチ・イニシアチブ」を通じて、日系人を含めた若い日米の世代の交流を促進しています。日本の若者と知り合うことで、次世代の日系アメリカ人がさらに日本との結びつきを深めて、日本に興味を持ち続けるようにしたいのです。実際、もっと日本について知りたいという熱意を、日系アメリカ人の若者たちに感じます。

市民社会の成長に期待

東日本大震災は、一般の日本人がいかに冷静さを保って、危機を耐え抜いたかを世界に示しました。私は自分のルーツを改めて誇りに思いました。もちろん、日本には変わらねばならない側面もあります。社会の硬直さ、伝統やシステムが創造性や革新的手法を十分に発揮できなくしている面もあるでしょう。それでも、ソニーなどの革新的な大企業を生んできたことも事実です。若い世代が海外で新たな体験をすることが、現状を変えの一助になると思います。

©2011年8月相澤和久君はこのプログラムで渡米

©「TOMODACHIサマー2012」では、東北大震災被災地から60名の高校生が3週間にわたり、米国の一般家庭に滞在しながら、ボランティア活動も含めたさまざまなアクティビティを体験



谷口幸紀神父 ルイジ・モリナリ神父

3.11 東日本大震災 ローマは忘れない

記念追悼ミサとコンサート 2014年5月6日

花は、は～なは、花は咲くー、
 いつーかあ 恋する君のために～



私は、不思議な巡り合わせでこの記念ミサを共同司式することになった。それは、私がイタリアで洗礼を受け、今は立派な行動するクリスチャンに成長した日本レストラン「寿司千」の女将(おかみ)の千香子さんと、そのお友達でかつて東京のイタリア文化会館の館長夫妻だったジョルジオとマリアを通して、サンタ・リタ教会の95歳のモンシニョール(司祭の称号)ルイジ神父に出会い、そのルイジ老司祭が私を共同司式に招いたからだった。日本をあの恐ろしい震災が襲ってから、はや3年が過ぎました。ルイジ・モリナリ師は今年も東北の地震の犠牲者と被災者のためにサンタ・リタ教会で捧げられるミサに皆さまを招いておられます。ミサの後、グリエルモ・デ・サンティス指揮の「カントーレス・ムジケ・ムンディ」合唱団とソプラノの藤井やすこさんの協力によるコンサートが開かれ、NHKの地震被災者を励ます歌「花は咲く」も歌われました。この出来事はスペインとフランスでも放映され、震災記念日にはNHKテレビでも一部取り上げられる予定です。皆さん、祈りを篤くして被災した兄弟たちを決して孤独のうちに忘れ去られることがないように、いつも私たちのこころに思い出しましょう。

イタリア人の地震と津波の災害犠牲者に対する関心は高い。目を覆う自然災害についてはもちろん、この日ルイジ神父の説教やジョルジオの挨拶で多くは言及されなかったが、福島第一原発事故の目に見えにくい人災についてはなおさらだ。彼らはクールで、政府や東電のように嘘をついたり事実を隠したりすることは通用しない。だから、一般の日本人より多くを知っていて真剣に憂慮しているのが感じられる。日本人が欺かれて過小評価し忘れようとしても、ローマの人々は、イタリア人は、世界は決して忘れない。千香子さんたちは現地福島の真剣な活動家と連携しながら、日々出来ることは何かを模索している。私はユーチューブなどで3.11のドキュメンタリーを見ながら昨夜は一睡もしなかった。私も何も出来ないが、この夏は3度目の被災地巡礼をしてみたいと思っている。 谷口幸紀神父(ローマ在住)

仕事や交流で日本からブラジルに来る人たちが増えている。仕事柄、こうした人たちに応対する機会が頻繁にあるのだが、最近増えているのが100円ショップの品物をお土産に持参する人がいる。こうしたものをもらうと、不愉快な気持ちになる。「お土産は金額ではない。気持ちだろう。目くじらを立てるなよ」と友人は笑う。安いからではない。気持ちがこもってないから嫌な気持ちにさせられるのだ。今年の初め、新潟県から派遣された青年がブラジルにやってきた。新潟県人会が彼らの歓迎会を開くというので招かれた。県人会の役員がバック入りの日本酒を無言で見せて、悲しそうな顔をした。見ると、灘(なだ)の酒だった。青年たちのお土産なのだが、県人会の人たちが期待していたのは、地元新潟のお酒だったことはいまでもない。心優しい県人会の人は小言も言わず、青年たちをもてなし始めた。このままではいけないと、悪役を買って出た。「県人会の人たちは、母県から来る人に『故郷』を期待するんだよ。新潟は酒どころなのに、なぜ灘なのか」。青年たちは歓迎会に招かれて、説教されるなんて思いもしなかったのだろう。ハトが豆鉄砲を食らったような顔をして答えてくれた。

手荷物に液体を入れることができなくなり、瓶入りの日本酒をトランクに入れると割れる恐れがあるのは百も承知だ。それを工夫して持ってくるのが、相手への気持ちだということを説明したが、理解してもらえたかどうか。ただ、新潟のお米や餅など「故郷」のお土産を持参しており、彼らに思いやりがあったことも付け加えておかなければならない。お土産には何がいいのか。相手が日本人なら米が一番なのだが、重いのが難点だ。軽くていいのは、日本茶、梅干しがベスト3だ。隠れた人気商品はふりかけ。日系人にも人気がある。日系人、ブラジル人を問わず喜ばれるのは「メイドイン故郷」。地域の紹介にも役立つ、話題作りにもなる。こうした小さな気遣いが地方の活性化に役立つことを知ってほしい。 2013年7月1日新潟日報記事より

 **Support Our Kids in Toronto**
トロント

東日本大震災に遭った東北地方の被災児童を支援するトロントの組織「Support Our Kids in Toronto」は、昨年に続いて今年も生徒たちのカナダ体験プロジェクトを実施することになり、その参加者の歓迎レセプションが、8月7日、トロント日系文化会館(JCCC)で開かれた。これは、日本のNPO(特定非営利法人)「次代の創造工房」と提携していくつかの国々で行われているプロジェクトで「Support Our Kids」(SOK)と呼ばれる。このプロジェクトをトロントで推進している瀬戸山久子さんをはじめ、ロータリークラブ・オブ・トロント・フォレストヒル、トロント総領事館、JCCCなどが協力している。岩手、宮城、福島の3県から来訪した10名の生徒と引率者は、この日午後、トロントのピアソン国際空港に到着、その足でJCCCでの歓迎会に臨んだ。一行は引率者の高土聡子(こうつち・さとこ)さんと中学3年～高校2年の女子生徒7名、男子生徒3名で、トロント側の団体代表らから歓迎の挨拶を受けた。続いて生徒一人ひとりが英語で、自己紹介をし、3年前の地震や津波の被災体験を語った。生徒たちは、自らの目でみた津波の被害、亡くなった人のこと、福島原発、家族の大切さなどをリアルに英語で話し、今回カナダでの支援者に感謝の言葉を述べた。



Congratulations!!

- * 道方望都  英国国際開発省に就職
- * 金子裕治  精神保健福祉士国家試験に合格
- * 早田義史  LBC校に入学
- * 金丸一作  Aoi College入学
- * 岡崎舞子  Aoi College入学
- * 篠遠恵美  Sheer music校ボイストレーニング講師に就職
- * 石川裕子  調理師免許を取得
- * 古賀英里子  埼玉県小児医療センターに就職
- * 福田文子(旧渡辺)  第四子を出産